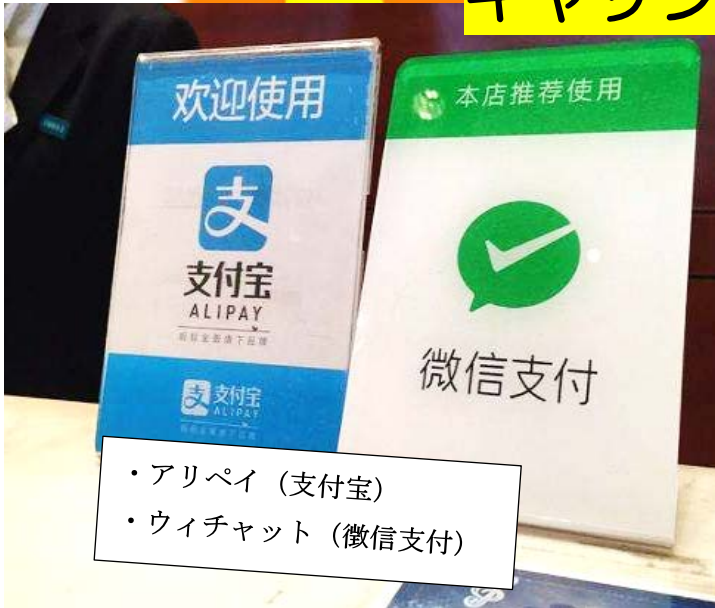


ごあいさつ



キャッシュレス化する中国



今年のゴールデンウィーク後半、出張のため北京へ行きました。出発する前に、いつものように前回使い切れなかった人民元を財布に入れました。

北京空港に着き、タクシーで市内のホテルに向かいました。ホテルに着くと、運転手に、「ウィチャットで払います」と伝えますと、運転手は一枚のカードに印刷された QR コードを後部座席にいる私の顔の真正面に持ち上げました。私は、自分のスマホにあるウィチャットというアプリを立ち上げて、運転手の QR コードを読み取ると、相手に対して支払いを行う画面が出てきました。金額を入力し、指紋認証を行い、完了ボタ

ンをタップしますと、運転席の方から「チャリン」という音のあと、「支払完了」という中国語が流れました。所要時間は30秒もかかりませんでした。それから、ホテル、レストラン、スーパーなどなど、生活のあらゆる場面での支払いは全てスマホで済ませました。四日間の出張が終わり、セントレアに降り立って、名鉄電車に乗ろうと切符売り場で、四六日ぶりに財布をカバンから取り出しました。財布を開けた瞬間、出発前に用意した人民元の札が目映りました。

そうか、今回は現金一枚も使うことなく出張が終わったんだ、と思いながら財布から千円札を一枚ずつ切符発券機に入れました。

中国社会のキャッシュレス化、いや、スマホ化が急激に進んでいることを、今回肌で感じました。一人当たり所得、インフラ整備、金融システムの健全さなどは、先進国に比べてまだ遅れている中国、何故こんなにスマホ化が進んだのでしょうか。

理由は様々です。その一つ、中国は固定電話が普及する前に、携帯電話が爆発的に普及しました。もう一つ、クレジットカードは先進国のように人々の生活に浸透していませんでした。この二つの事を背景に、モバイル決済技術が登場すると中国のネットユーザーのニーズにピッタリ合致するのは容易に想像できるでしょう。

今、中国は7億人ほどのモバイル決済ユーザーを有し、世界一のスマホ決済先進国です。そして、日本に来る中国人観光客がどんどん増えている中、日本の小売業界もモバイル決済サービスの提供を加速させることになるでしょう。

大手デパートやショッピングモールは、すでにアリペイと微信支付を導入済みです。その次はドラッグストアやコンビニなどの番でしょう。皆さんはこの記事を読んでから、地元の店のレジでこの写真の中の案内を見ても驚かないくださいね。



私の韓国との縁

もっともっと楽しめる韓国語アップグレード」講座

受講生 大石 治



<大邱師範学校時代の父>

初めて韓国を旅したのは1980年代。バックパッカーとして10日あまりソウル、慶州、釜山を放浪した。旅の途中、ひょんなことから趙成範という高校の日本語の先生と知り合った。当時、私も高校の英語教師。同業のよしみということから急速に接近し、旅の途中彼の学校を訪れ日本語授業のお手伝いをした。その時ソウルは既に大都市だった。それから、数年後、趙先生が日本語の研修で来日。京都に来られた時、東映太秦映画村を案内した。

1995年私は家族と豪州に移住した。日本語の教師になり1年生から12年生までの生徒に日本語を教えた。ある年、私の日本語のクラスにソウルからの留学生ムジンという男子生徒がいた。私が東洋人で親近感をもったのか彼は授業後いつも私に話しかけてきた。しかし、事情があり、彼は2年後ソウルに帰って行った。

オーストラリア在住時、家の近くにキムズ・マーケットというスーパーマーケットがあった。韓国出身のキムさんが店主で、私達はアジアの食べ物を求めてその店にしげしげ通い、いつしか私はキムさんと親しくなった。ある日、日本で

大人気という「冬ソナ」のビデオをその店で借りた。しかし、なんせその店は主に韓国系の人たちを対象にしたお店。日本語の字幕がなかった。当時私は韓国語を全く知らなかった。

2005年、ホリデイで日本に帰る途中、ソウルにある趙さんの家に3日間ホームステイした。再び彼の学校に行き日本語の授業に参加した。

2006年豪州から日本に引き揚げた。その2年後ソウルにいるムジンが我が家に来て1週間ホームステイしていった。

父は1996年、母は2014年亡くなった。母の遺品を整理していた時、押し入れから古いアルバムが出て来た。その中に21歳の時の父を見つけた。大邱師範学校という見出しが父の自筆で書かれていた。日本人ながら父はこの学校を卒業し、朝鮮半島で小学校教員になった。戦争が始まって、父は赤紙とともに満州行きとなった。ネットで調べてみると、当学校の面影はまだ大邱に残っているという。

今年の夏、この学校の跡地を訪れたいと思っている。いわば、父と私のルーツを辿る旅でもある。昨年4月より日福大の生涯学習センターで、本格的に韓国語を勉強し始めた所以である。



1980年代 右端が趙先生



2005年趙先生と奥様

イベントのお知らせ



～講座連絡者会・受講生交流会～ 開催いたします！



今年度も、「講座連絡者会・受講生交流会」を 6月16(土) 13:00～15:00

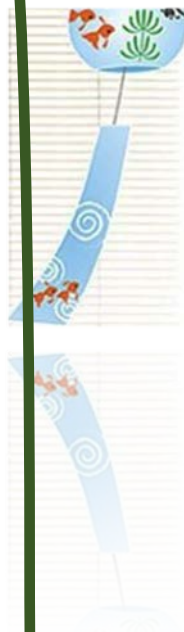
半田キャンパスの会議室2にて開催する予定です。当日は、お菓子やお茶の用意もあります。

お茶を飲みながら、講座の様子、感想などをお聞かせください。

2年ぶりの開催となります！生涯学習について沢山のご意見をいただければと思います。

受講生ならどなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

お待ちしております！



今年度も趣向を変え、受講生の皆さんの交流の場として開催したいと考えています。

受講生の皆さんが他の講座を知るきっかけとして、また講座での学習や成果を発表する機会になればと思います。受講生の皆さまはもちろん、ご家族の方や友人などお誘いいただき参加しませんか？おいしいものを食べながら、歓談しながら一緒に楽しみましょう！

＊日時…7月29日(日) 11時～14時(予定)

＊場所…コミュニティセンター棟2階

＊申込方法…講座内で詳細を配布

2018

集い

開催の

お知らせ



杉山邦博先生の講話を予定しています！！



この会報誌「LECの広場」は皆様の投稿で作られています。近況、短信、何でも結構です。投稿をお待ちしています。

また、<http://www.netnfu.ne.jp/lec/community/> から「LECの広場」バックナンバー、最新情報もご覧頂けます。